



とさのさとより

シフォンは 卵白の泡立て加減が命!

手づくりおやつのお店 とがのシフォン 店長
にしかわ かよ
西川 佳代さん(52歳)

元々は事務職に就いていましたが、職場の方々に
お菓子を作って持っていくのが好きで、「おいしい!」
とみんなの言葉に背中を押され、趣味が仕事になり
開業。以来15年、シフォンケーキをはじめとした手作
りのお菓子を、「とがのシフォン」や「とさのさと」な
どで販売しています。

お菓子作りのこだわりは、地元の食材をなるべく使
うこと。また、シフォンは卵白の泡立て加減が命! ふ
わふわ感を損なわないように気を付けて作っています。

時間が出来たら、陶芸教室に通いたいと思ってい
ます。自分が作ったお皿で自分が作ったお菓子を提供
できる喫茶店を開くのもいいかな、と考えています。

手づくりおやつのお店 とがのシフォン
〒789-1232 高知県高岡郡佐川町東組1347-5
TEL: 090-5910-1633
営業時間: 11:00 ~ 18:00
パンの日: 月・金

お菓子屋さん「見つけ!」

COOKIE STAND MIKKE 店長
どい ゆい
土居 唯さん(33歳)

今年の1月21日、高知市上町にお菓子屋さん
をオープンしました。小さい頃からの夢が叶い、と
ても嬉しいです。お菓子の素材はできるだけ国産
で、果物と米粉は高知県産を使用しています。
オススメは「MIKKEサンド」。クッキーでレモンバ
タークリームをサンドしたオリジナル商品です。他
にもフロランタンやブルドネージュなど、約25種
類のお菓子を提供しています。お菓子作りのこだ
わりは、喜んでくれるお客さんの顔を思い浮かべ
ながら生地を作ることです。

手土産や結婚式などにピッタリな「ギフトボク
ス」も販売中。電車通りから小道に入って「見
つけ!」となるお店、ご来店お待ちしております。



上町より

COOKIE STAND MIKKE
〒780-0901 高知県高知市上町3-6-6
営業時間 11:00~16:30
定休日 月・木・日



Instagramは
コチラ!

高知地区 から こんにちわ 今月の〇〇 気になる人

森山より



頼ってもらえるような 保育士を目指して

とくひろ ゆう
徳弘 有海さん(18歳)

自動車学校とアルバイトの忙しい日々を乗り
切り、今月から短大生になります。保護者の心
の支えになり、頼ってもらえるような保育士を目
指して頑張ります。現在はピアノの上達に向け
て、教室にも通っています。

部活は小・中・高とバドミントンが続けていて、
四国大会に何度も出場したことがあります。得
意なプレーは、相手の嫌がる場所に落とす
ショットで、裏をかく読み合いが醍醐味。社会
人になっても続けていきたいですね。

祖父母がキュウリや米、ニンニクを作ってい
ます。米袋のはんこを押す作業などを手伝って
います。

成長する実を見るのが 楽しみです

なが おしゅういちろう
長尾 秀一郎さん(16歳)

約2年前、祖父母が所有している山を家族で
整えた時、この土地がもったいないと思ったことか
ら、温州ミカンの木を植えました。それをきっかけ
に、文旦や小夏などの柑橘類を中心にいろいろ
な作物の栽培を始めました。現在は土日などの休
日を利用し、約80本の木を近所の農家さんに助
けてもらいながら管理しています。また、高校の温
室を借り、フィンガーライムやライチ、マンゴーも
育てています。果樹は多年生。昨年までとは違っ
た出来を毎年見ながら、小さい実が大きくなって
いくのがとても楽しみです。

将来は農業系の大学への進学にも興味が出て
きたので、勉強頑張ります!

春野高校より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



とら巻きを手渡す女性部員 写真④

1 高知地区 春野女性部3部会 一人暮らしの高齢者宅に とら巻き配布

J A高知県女性部の春野地区は2月16日、春野町内に住む80歳以上で一人暮らしの高齢者宅を対象に配布する、とら巻き作りを行いました。フレッシュミス部会・ミドル部会・女性部会の3部会の部員12人が参加し、63本のとら巻きを調理しました。

この活動はJ A助け合い組織活動の一環として、手作り弁当を配布するなど毎年行われていましたが、新型コロナウイルスの影響で3年振りの活動となりました。

昔から食べられてきた伝統的なお菓子で、おやつとして食べるほか皿鉢料理の中に入ることもある、ハレの日の料理です。

2月17日、同3部会の部員は春野町内の60世帯にとら巻きを手渡しで配布。とら巻きには「お元気ですか」等と書いたメッセージを添えました。

受け取った同町内の女性は「子供の頃に食べた懐かしいおやつを頂けてとても嬉しい、ありがたく頂きます」と話しました。



挨拶する今村常務 写真中央

2 高知地区 春野支所 青壮年部との対話学習会開く

春野支所は2月24日、春野町のJ A教育研修センターでJ A青壮年部春野本部との対話学習会を開きました。部員22人と役員15人が参加。今村篤志常務は「部員の皆様には日頃よりJ Aの事業や地域貢献活動にご協力頂き感謝している。本日はJ Aと青壮年部がよりお互いに分かち合えるような時間にした」と挨拶しました。

会では、部員に対し改めて同J Aの経営理念及び方針を伝え、役員の役割と業務内容および各事業の概要などを説明。また、事前に受け付けた質問に回答しました。そのほか、資材高騰対策などの農政活動における成果や活動方針、各事業に対する疑問点や特に意見の多かった販売・営農指導事業の取り組み状況などについて説明・回答しました。

参加した青壮年部の矢野俊成部長は「J Aがどんな業務を日々行っているのか、細かく説明があり良かった。また、各部署長とも実際に顔を合わせて話げできた」と話しました。

3 高知地区 1 DAY仕事体験で職員と交流 就活に臨む学生招く



集出荷場を見学する学生ら

J A高知県は2月3日、令和5年冬季J A高知県1 DAY仕事体験を春野町で開きました。来年3月に卒業見込みの学生6人が参加。参加者はJ Aの仕事内容や農業情勢についての説明を受け、春野支所や直販所春の里、春野営農経済センター集出荷場などを見学したほか、クイズ形式でJ A高知県や農業に関する知識を深めました。

グループに分かれての職員との懇談会では、「どんな人材が求められているか」「やりがいを感じるのとはどんなときか」など参加者から質問があり、職員は現場でのエピソードを交えて交流。また、若手職員の職場での実体験を基にしたテーマでグループワークも行いました。

4 高知地区 鑑定技術競う 令和4年度農産物鑑定会



米の等級を鑑定する検査員

J Aグループ高知農産物検査協議会は2月6日、農産物検査の公正性・信頼性の確保を図ることを目的に、令和4年度農産物鑑定会を春野町のJ A教育研修センターで開きました。J Aの農産物検査員の資格を持つ72人が参加し、玄米の等級判定の正確さや速さを競いました。

30分の時間内に「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「よさ恋美人」他、水稲うるち玄米35点、水稲もち玄米5点の試料の品位等級を鑑定。同協議会会長でJ A高知市営農経済部の坂本尚紀さんは「自己の鑑定技術の向上を目指し、消費者の信頼を獲得して欲しい」と激励しました。

5 営農販売事業本部 J A高知県 集出荷場「カイゼン」報告会



カイゼン報告会の様子

J A高知県は2月9日、令和4年度「J A高知県集出荷施設カイゼン報告会」を高知市で開きました。地区から選出された7集出荷場（部署）が取り組みを発表しました。報告会は、県内集出荷施設にトヨタ生産方式を用いたカイゼン活動を定着させるとともに、各地区の業務改善に関する優秀な事例を共有することで、相互研鑽を図ることが目的です。

高知地区では、春野営農経済センター販売課の木戸純平さんが発表。キュウリの袋詰増量や出荷資材高騰による農家所得確保などについて課題を挙げ、現状の把握・取り組み・効果を説明しました。

6 高知地区 春野胡瓜部会 若手キュウリ生産者同士で勉強会



勉強会に参加する若手キュウリ生産者 写真④

春野営農経済センター春野胡瓜部会は2月17日、若手育成会の勉強会を開きました。生産者10人が参加し、意見交換などを行いました。今後の部会活動の中心となる若手生産者の支援、育成を行うことで、部会や産地全体の活性化を図ることが目的です。

営農指導課の浪越城介さんは「勉強会を通じて栽培技術の更なる向上や、今後の部会活動への参加意識の向上に期待しています。また、この若手育成会が新規就農者受け入れの際のメリットや決め手になれば」と話しました。

そのほか、高知農業改良普及所の普及指導員による「病害虫防除対策について」と題した発表も行われました。

高知農業改良普及所より

ショウガでの土壌還元処理の 取り組みをご紹介します!

露地ショウガでは、収穫終了から次作の定植までの期間に、地中に残った雑草や病害虫を防除するため、一般的に、土壌くん蒸剤が用いられています。しかし、産地で問題となる根茎腐敗病(写真1)などの病原菌は、地中深くまで存在するため、土壌くん蒸剤の効果が不十分な事例が見られます。そこで、根茎腐敗病に対し、新規資材「オマラス」(写真2)を用いた土壌還元処理の事例をご紹介します。



写真1 根茎腐敗病による症状



写真2 オマラス

◆土壌還元処理について

オマラスとは、大豆の皮とさとうきびの糖蜜を混合し乾燥させた飼料です。糖蜜が水と混ざること地中深くまで溶け出し、微生物が糖蜜等を餌に増殖します。微生物が増殖する際には、酸素を消費するため、地中が還元状態になり、病原菌が死滅します。還元状態にするには、かん水後にビニールで被覆し、高い地温を維持することが大切です(写真3)。また、被覆期間中に地中の酸化還元電位や温度を測定することで、還元状態となっているか確認することができます(図1)。



写真3 土壌還元処理の様子

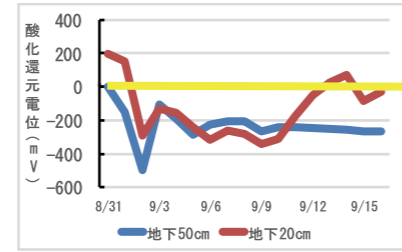


図1 還元処理中の電位

◆土壌還元処理後の生育状況

オマラスによる土壌還元処理を行ったほ場で、翌年にショウガを栽培し、生育は順調か、葉の黄化や枯死がないか、上空からのドローン撮影により確認しました(写真4、5)。その結果、栽培終了時まで根茎腐敗病による症状は確認されませんでした。また、ほ場に立ち入ることなく、効率的に調査することができました。園主の方からは、今後もオマラスでの土壌還元処理に取り組んでいきたいとの声が聞かれています。



写真4 ドローン



写真5 ドローンで撮影したショウガほ場

ショウガでの土壌還元処理にご興味がありましたら、高知農業改良普及所にご相談下さい。

お問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)

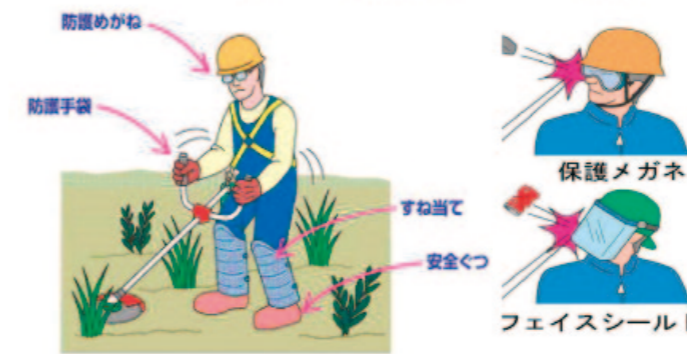
役立つ! 得する! 情報 えいのう〜

春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 春野営農経済センター営農指導課
電話:088-894-5660 (営農指導課)

農作業安全・労務管理について

刈払い作業では身体の防護もしっかりと

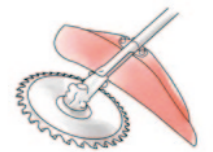


刈払い作業では、切断した草、小石等がたくさん飛んできます。万が一のために、自身も保護具で守りましょう。

1. 手袋、安全靴、保護メガネ又はフェイスシールド、イヤーマフ、すね当てを着用します。
2. 保護メガネには、曇り止めを塗ります。
3. エンジンに触れた時の火傷、刈刃の交換時の切り傷を防ぐためにも、必ず手袋を着用します。

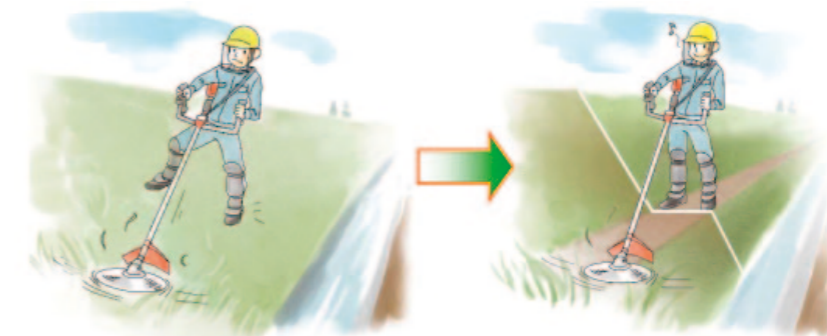
<飛散防止カバーは取らないで!>

草が絡みついたら、と飛散防止カバーを外したり、カバーを刈刃からかなり離れた位置に取り付けている人がいます。このカバーは小石など飛散物を防ぐほか、外れたチップの飛び出しを防ぐ大切な役割があるので、取らないようにしてください。



<傾斜面には、小段の設置を>

作業姿勢が不安定で、転倒や踏み等で事故が起こっています。農作業事故の対面調査の結果では、斜度が40度を超えるところで、事故が多く発生しています。この不安定姿勢を解消するには、斜面の途中に小段などを設ける事が有効な対策として挙げられます。



刈払機は、右に左に重心を移動し、大変不安定。斜面になるとさらに不安定。小段などを設置して安定に

小さな畦でも、斜面の部分があります。草を根本的に「断つ」ため、防草シートを畦に張ったり、畦の石抜きやカバープラントを植えるなど、草を根本的に抑える方法も取ることが大切です。

「鳥獣被害対策専門員からのお知らせ」は終了することになりました。今までお読みいただきありがとうございました!

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

高知の冬はやっぱり文旦ですね。子供の頃は母がむいてくれるそばから食べていました。
(高知市朝倉丁 35歳)

▼2月号の特集は、「高知のソウルフルーツ 愛され土佐文旦」でした。文旦をよりおいしくする土佐市の農家さんの「野圃い」についてや、文旦愛あふれる「文旦ムキムキ隊」の活動も紹介しています。私も子供の頃は母がむいてくれるそばからつまみ食いしていました(笑)

毎回楽しみにしているのは、「輝け！新農人」。若い人たちが農業へかける気持ちがとても素晴らしいです。
(高知市福井町 58歳)

▼2月号では、就農2年目の南国市の若手シントウ農家さんをご紹介します。来作からは自分のハウスを持ち、規模拡大に向け日々の管理を徹底してこなすことが当面の目標とのこと。これからも県内各地の新規就農者さんの活躍をお伝えしていきます。

こうぐりには、地元・春野の方や近所の農家さんが載っている事もあり、読んでいて楽しいです。知っている方が載っている時には「載っちゃうー」と盛り上がります。
(春野町東諸木 71歳)

▼「今月の気になる人」コーナーでは、毎月地域の方々を紹介しています。取材し記事を書く身としては、掲載されたことが誰かの話のタネになれていることが嬉しいですね。どんどん高知地区の皆さんを取り上げ、こうぐりを盛り上げていきます！

うちんくの台所のゴーヤーレシピが気に入りました！苦手だけど今年の夏はお母さんに作ってもらって、勉強頑張ります！
(高知市長浜 15歳)

▼ゴーヤーを使ったレシピが香美地区の園芸部より2品掲載されました。「ゴーヤーの和風ピザ」は斬新なアイデアではないでしょうか、ぜひお試しあれ。勉強頑張ってます。

幻のピーナツ揚げ美味しそうです。初めて知りました。
(春野町弘岡下 75歳)

▼波介農産物直売所の「幻のピーナツ揚げ」は、年3回しか販売しない幻の味。次の販売は10月頃。人気ですぐに売り切れるので、電話予約がオススメのことです。私も買いに行こうと思っています。

こうぐり50号おめでとございます。毎回色々な情報が載っていて楽しみです！
(高知市南ノ丸町 66歳)

▼平成31年1月に創刊した「こうぐり」は、2月号で通算50号を迎えました。日頃からご愛読いただき、ありがとうございます。これからも組合員・地域の皆さんに楽しんでいただけるような広報紙づくりに取り組んでいきますので、応援よろしくお願いします！

【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

- 企画組合員課 894-3033
- はるちゃんのアイス屋 894-2760
- 春野支所
- 信用課 894-2203
- 共済課 894-3304
- 共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

- 高知中央サービスセンター（事故処理） 821-6015
- (株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212
- ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911
- 春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

- 購買課 828-6111
- Aコープはるの直販所「春の里」 894-2225
- 重油係 828-6115
- ビニール加工場 894-4264
- 経済渉外課 828-6111
- JAグリーンはるの店 828-6161
- 配送部門 828-6113
- 販売課 894-2222
- 営農指導課 894-5660